

議長	副議長	事務局長	次長	係長	係員

復命書

令和元年11月1日

三沢市議会 議長 船見 亮悦 殿

産業建設常任委員会

委員長 加澤 明

副委員長 田嶋 孝安

委員 澤口 正義

〃 西村 盛男

〃 森 三郎

随行 川嶋 貴彬

(事務局主査)

先に旅行した結果について、次のとおり復命いたします。

記

1. 目的 産業建設常任委員会行政視察
2. 期間 令和元年10月23日（水）～25日（木）
3. 視察先 静岡県焼津市、藤枝市
4. 概要 別紙のとおり

焼津市の概要

静岡県の中央部に位置し、駿河湾に面している焼津市は、面積70.31km²、人口約14万人、約5万7千世帯の都市。遠洋漁業の基地として発展し、主に遠洋からのカツオやマグロが水揚げされる焼津漁港のほか、沿岸・沖合のサバやアジなどが水揚げされる小川港、しらすやさくらえびなどが水揚げされる大井川港と3つの漁港がある水産都市です。焼津漁港は全国に13港ある「特定第三種漁港」のひとつに指定されており、水揚量は銚子に次いで全国で2位、水揚金額は全国1位という規模の漁港です。

視察項目『水産業振興に係る施策について』

はじめに、焼津漁港で水揚げの様子を見学させていただきました。焼津漁港は広大であり、荷捌所や倉庫など大型の施設が数多く整備されていました。巨大な漁船から冷凍された大量のマグロやカツオがクレーンで水揚げされ、荷捌所に運ばれる様子を間近に見学することができました。これらの漁船は遠洋で漁をしており、オーストラリアやインド洋、アフリカのケープタウン沖まで向かう漁船もあるとのことです。また、カツオやマグロは一本釣やはえ縄で漁をしており、一本釣は主に生食用に、はえ縄は主に加工用に出荷されているとのことでした。

その後、焼津市役所にて水産業振興に係る取り組みについて伺いました。焼津市の特産品は鰹節やはんぺんなど魚の加工品で、加工業者が多く立地しているため、それらの事業所のためにも一定の水揚げ量を確保することが必要です。一方、漁協に所属する漁船が減少傾向にあることから、焼津市では国の事業を活用しながら、利子補給などの制度により新しい船の導入などを支援しているとのことでした。

また、焼津市の水産業を振興するために大きな役割を担っているのが、焼津市水産振興会（事務局：焼津市水産振興課）です。この団体は、水産関係団体や賛同企業など64の会員により組織され、総会・総務会・幹事会・委員会がそれぞれ組織的に事業を展開しています。

主要事業として、地元の漁船が減少傾向にあるため他地域の漁船を誘致する外地船誘致事業、海外での商談会や市場調査等を支援する海外市場開拓支援事業、その他にも様々なPR事業を実施しています。焼津で水揚げされるマグロやカツオの消費拡大を図るための多様なイベントや、焼津産の食材をつかった料理を募集する「焼津めしコンテスト」などを解説していただきました。

所感

焼津市の水産業振興については、焼津市水産振興会の果たす役割が非常に大きいものと感じました。また、市の地場産業である水産業をPRし、水産物の消費拡大を図るため、多数の企画を展開し、また興味を引くパンフレットを作成するなど、水産都市の魅力を多分に感じることができました。焼津が誇るカツオやマグロを提供する市内店舗を紹介する「鮓めぐり」や「鰐三昧」など、地元の美味しい食材を地元で提供することで消費拡大やブランド化を目指す取り組みは、非常に参考となりました。

当市においても、「三沢ほっけ丼」など地元食材を力強くPRしている事例がありますが、今回現地で視察した事例を参考にしながら地場産業の振興に向けて今後も取り組んでいきたいと思います。

藤枝市の概要

静岡県の中央部に位置し、南北に長い地形である藤枝市は、面積194.06km²、人口約14万5千人、約6万戸の都市。江戸時代には東海道の宿場町として栄えた歴史があります。サッカーを核としたまちづくりも進められており、有名なサッカー選手を多数輩出するなど、「サッカーの町」としても知られています。

視察項目『起業・創業支援の取り組みについて』

今回の視察は、商業施設「Bivi藤枝」内に構えられた「産学官連携推進センター」にて行いました。Bivi藤枝は、飲食店や小売店、映画館など多数の商業テナントのほかに、市の図書館なども入居しています。産学官連携推進センターは、起業・創業相談への対応やセミナー開催、ビジネスに役立つデータ提供といった機能をもつビジネス支援の拠点施設であり、静岡産業大学藤枝駅前キャンパスと一体的に運用されています。

藤枝市では平成23年から、地元の中小企業を成長させることで地域経済の活性化を図る政策である「エコノミックガーデニング」を推進しています。協議会の立ち上げや企業へのヒアリング、図書館内へのビジネス支援コーナー開設などの取り組みを経て、平成26年からはビジネス支援の相談窓口「エフドア」を開設するに至りました。エフドアでは、相談員による相談対応やセミナー開催

などを実施していましたが、より相談者に寄り添った支援を行える体制を目指し、平成28年からは中小企業診断士の資格を持つ産業コーディネーターが常駐しているとのことです。

エフドアでは、「起業に向けて何をすればわからない」という人からも相談対応し、関係機関等とつなげて支援の幅を広げています。加えて、専門的なノウハウを学ぶセミナー、模擬出店イベントなども実施しています。また、藤枝市が創業支援事業計画を策定した際にアンケートを実施したところ、女性からの「起業をしてみたい」という回答が高い割合でみられたことから女性の起業への支援にも力を入れています。基礎・実践・チャレンジと段階ごとのセミナーや、ライフプランに合わせた小さな起業を学ぶセミナー、託児を利用できるセミナーなども開催しているとのことです。

所感

藤枝市では、起業についてのセミナーや相談会だけでは一過性で終わってしまうことから、常時相談できる人材を配置するに至ったとのことで、構想から開業まではもちろん、その後も継続的に相談対応等の支援を行っているとのことでした。思い立ったときに相談できること、そして継続的に相談できることができることが、起業を志す方にとって非常に重要であると感じました。また、セミナーの開催についても、基礎や実践など段階ごとに開催する、女性にターゲットを絞って開催するなど工夫があり、参考となる事例でした。

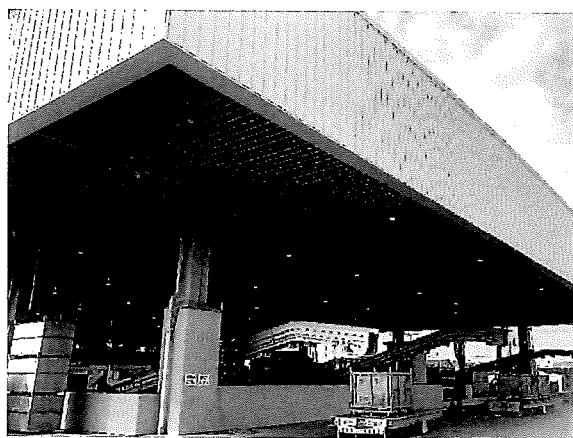
また、藤枝市のエコノミックガーデニング推進は、関係機関との協力体制構築や実態調査から始まり、情報支援の実施、支援窓口の開設、さらにはコーディネーターの配置と年々施策を展開しており、非常に参考となる取り組みでした。

今後の三沢市の経済活性化を考える上で、地元に根付いた中小企業や起業・創業という新しい挑戦をする人を応援することは非常に重要です。今回視察した事項を参考に、当市経済の振興に取り組んでいきたいと思います。

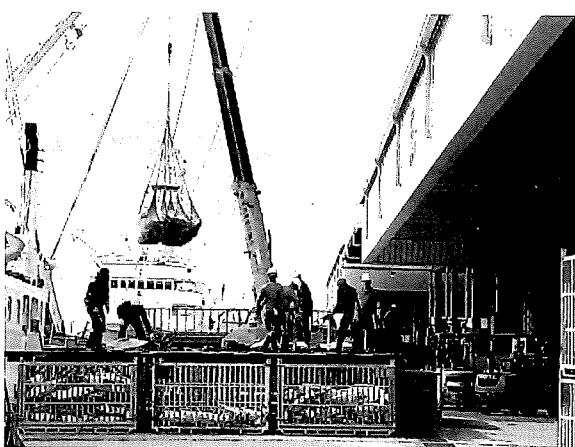
視察写真 静岡県焼津市



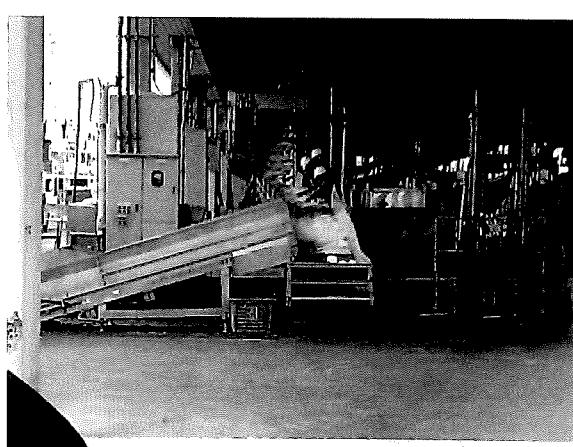
焼津漁港 漁船と荷捌施設



焼津漁港 荷捌施設外観



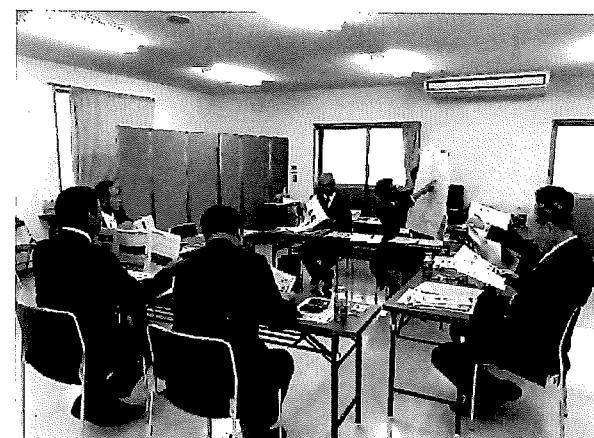
焼津漁港 水揚げの様子



焼津漁港 荷捌施設の作業の様子



焼津漁港 水揚げの様子



焼津市役所内会議室

視察写真 静岡県藤枝市



藤枝市産学官連携推進センター内会議室



藤枝市産学官連携推進センター



藤枝市EG支援センター『エフドア』



エフドア内相談スペース